

ブース形（深形）レンジフードファン

形名

V-604KSW4

ブース形（深形）レンジフードファン（換気ユニットレンジ用フードファン）

形名

V-604KSW4-BL
V-604KSW4-BL6

V-604KSW4-BL5

優良住宅部品「BL」認定
(BL規格排気型IV型)

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

- 本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 接続ダクトはφ150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。
- コントロールスイッチの取付けには市販のJIS C 8336の1個用スイッチボックスが必要です。

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。















安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。











警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

警告

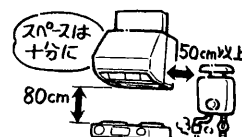
	交流 100V 以外では使用しない		メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取付ける場合、本体とメタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板とが電氣的に接触しないように取付ける
	火災や感電の原因になります。		指示に従う
	製品を水につけたり、水をかけたりしない		アース確認
	水かけ禁止		アースを確実に取付ける
	ショートや感電の原因になります。		故障や漏電した場合感電の原因になります。
	分解・修理はしない		プラグを抜く
	火災・感電・けがの原因になります。		ランプを交換するときやお手入れの際は電源プラグを抜くか、分電盤ブレーカーを切る
			プラグを抜く
			感電やけがの原因になります。

注意

	指定以外のランプを使用しない		指示に従う
	禁止		部品を取付けは確実に進行
	ランプの周辺が高温になり、やけどの原因になります。		落下によりけがの原因になります。
	直接水がかかる場所や温気の多い場所には取付けない		配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
	水場使用禁止		接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
	感電や故障の原因になります。		取付けの際は、手袋を着用する
	指示に従う		けがの原因になります。
	本体の取付工事は十分強度のある所を選んで確実に進行		
	指示に従う		
			落下によりけがの原因になります。

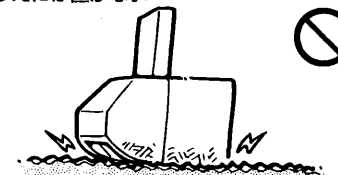
お願い

下図の寸法を守る
(本体の下端からガスレンジまでは 80 cm 以上必要です)



(モーター故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生となります)

直接コンクリートなど、傷のつきやすいものうえには置かない



ダクト工事

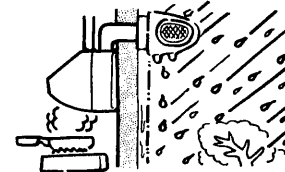
●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつける。先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。

●次のようなダクト工事はしない。(風量低下や異常音発生の原因になります)

- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しぼり



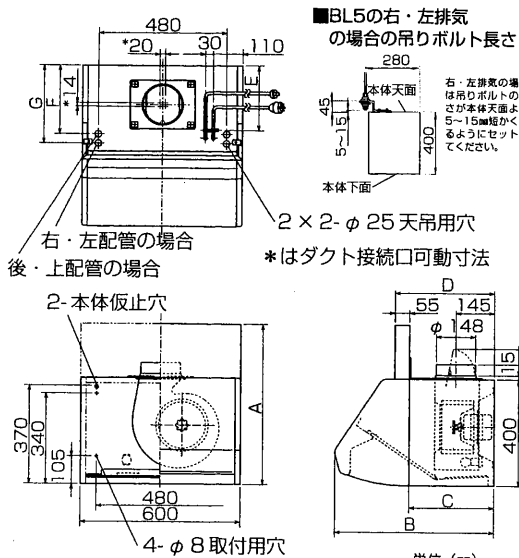
●システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。(製品性能が得られないことがあります)



排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります、ご利用ください。

- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードをおすすめします。

外形寸法図



形名	A	B	C	D	E	F	G
V-604KSW4 V-604KSW4-BL6	600	600	320	350~400	240	255	290
V-604KSW4-BL	600	650	370	400~450 (350~375も可能)	290	255	290
V-604KSW4-BL5	600	550	270	300~350	190	240	280

単位 (mm)

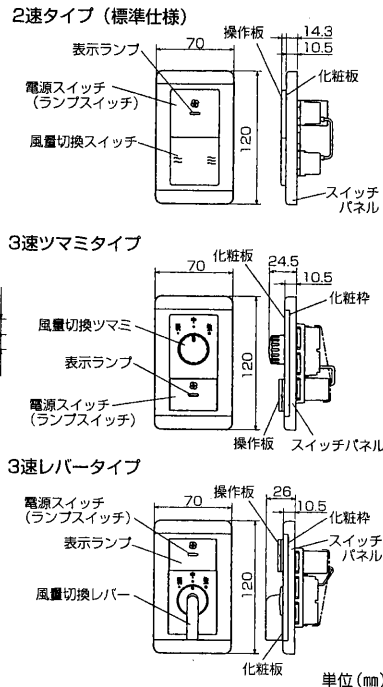
付属部品

●下記の付属部品があります。

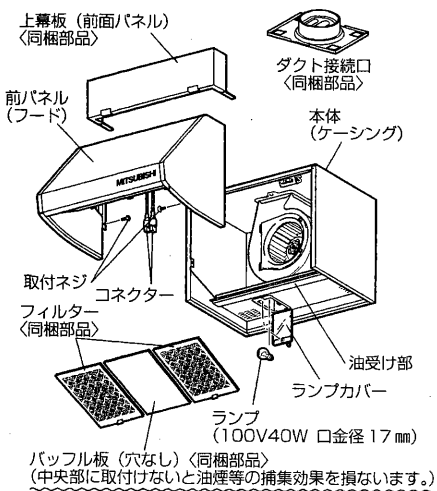
L金具.....2個	上幕板取付金具.....2個	チョウボルト.....2本	天吊り金具.....2個 (BL5用)
ネジ.....8本	特殊ワッシャー.....4個	ゴムワッシャー.....4個	ワッシャー.....2個 (BL5用)
丸ワッシャー (大).....2個 (小).....2個	角ワッシャー.....4個	木ネジ (大) 4本 (小) 2本	M5 ネジ.....4本 (BL5用)
天吊りワッシャー.....4個			

コントロールスイッチ	1個		
2速タイプ (標準仕様)	3速ツマミタイプ	3速レバータイプ	

コントロールスイッチ



各部のなまえ



※図はV-604KSW4を示します。

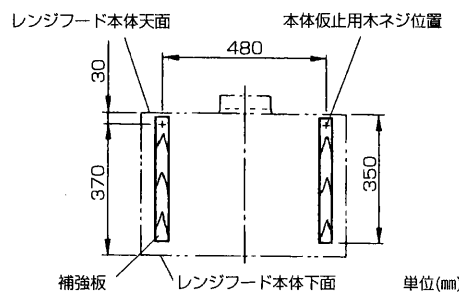
取付方法

本体の取付けには、天井取付けと壁取付けがあります。この製品は上部直排方式となっていますので排気方向は後・左・右自由に選択できます。

■配管スペースがない場合で排気方向を後・左・右に変更するときはシステム部材の排気アタッチメント (P-60MA3) をご使用ください。

1 取付け前の準備

本体を取付ける前にダクト配管・取付け壁の準備をします。



板張りの場合

- 板厚20mm以上の場合には直接壁に取付ける。20mm以下の場合には20mm以上になるよう補強板を取付ける。

コンクリート、タイル、土壁の場合

- 新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込む。
- 既築の場合はコンクリートビスなどを利用するか補強板を固定して取付ける。(補強板が壁面より露出することになりますのでレンジフードファンは壁に密着しません。)

お願い

- 新築・既築により準備が異なりますがいずれの場合も十分強度をもたせてください。

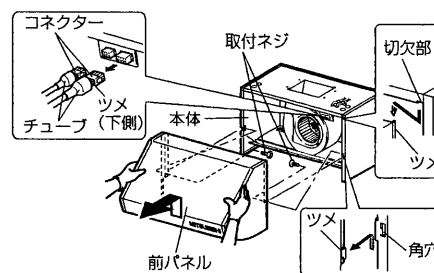
天吊りボルト

- 天井取付けの場合は外形寸法図を参照して天吊り穴位置にあらかじめ市販の吊りボルト (M8) 2本を埋め込む。

ダクト配管

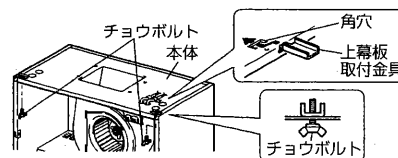
- 壁穴をあけてその中にφ150のダクト (鋼板管・スパイラルダクト) を配管し、その周囲の仕上げを行う。

2 前パネルをはずす



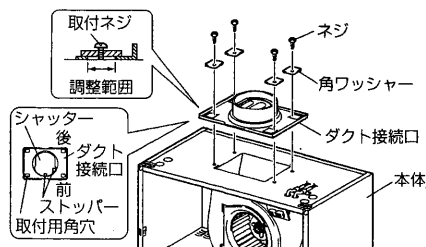
- 1 レンジフード内の右上にあるコネクターのチューブをずらし、コネクターの下側にあるツメを押さえながらコネクターを引き抜く。
- 2 レンジフード内の両側にある取付ネジをはずす。
- 3 前パネルの下側を少し上に持ち上げるように手前に引いて、本体から取りはずす。

3 上幕板取付金具を仮止めする



上幕板取付金具の引掛部を本体角穴に差し込み、本体内部からチョウボルトで仮止めする。

4 ダクト接続口を仮取付ける

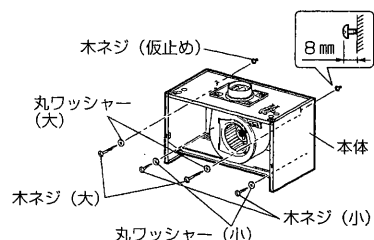
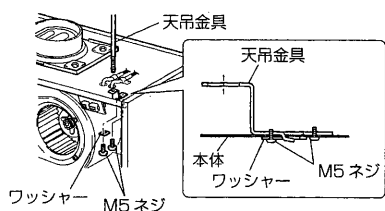
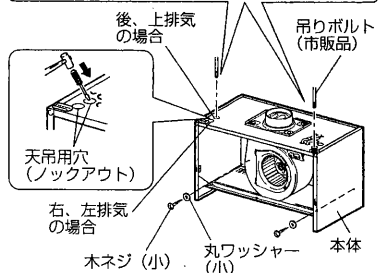
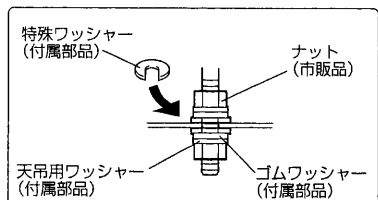


- 図のように必ずストッパーを前にして取付ける。
- ダクト接続口の取付用角穴が本体の取付穴の中心になるように付属のネジ・角ワッシャー（各4個）で仮取付ける。

5 天井/壁に取付ける

■天井取付けの場合

- 1 外形寸法図を参照して、排気方向と天吊用穴位置を確認後、吊りボルトを埋め込み、ナット（市販品4個）と付属の天吊用ワッシャー、ゴムワッシャー（各4個）を取付けておく。
● 右または左に排気する場合は、前側の天吊用穴を使用する。
- 2 本体の天吊用穴（2か所）のノックアウトをハンマーやドライバーなどを使用して打ち抜く。
- 3 本体を吊りボルトに吊し、付属の特殊ワッシャー（4個）を差し込む。
- 4 左図のように付属の特殊ワッシャー、ゴムワッシャー、天吊用ワッシャーを介してナット（市販品）で固定する。
- 5 本体内部より壁面に向けて付属の丸ワッシャー（小）と木ネジ（小）2本で本体を固定する。



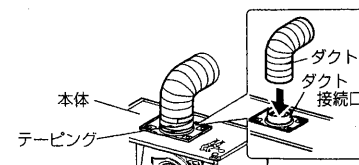
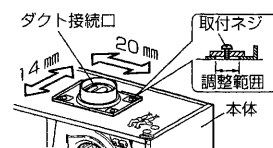
■V-604KSW4-BL5を 右または左に排気する場合

- 1 本体の天吊用穴のノックアウトをハンマーやドライバーなどを使用して打ち抜き、天吊金具の引掛部を引掛け本体内部からネジ止めする。
- 2 本体内部からワッシャーの角穴を天吊金具の引掛部に合わせM5ネジで固定する。

■壁取付けの場合

- 1 付属の木ネジを壁面に水平に図のように仮取付けする。（2か所）
- 2 本体を木ネジに引掛ける。
- 3 傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属の丸ワッシャー（大・小）と木ネジ（大・小）で図のように本体4か所を固定する。

6 ダクト工事



1 ダクト接続口取付位置の調整

- あらかじめ配管してあるダクトとダクト接続口とにずれがでた場合はダクト接続口の取付ネジをゆるめて調整範囲ですらし、ダクトと合わせる。

2 ダクト接続口をしっかりと固定する。

- 3 ダクト接続口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングする。

●お願い

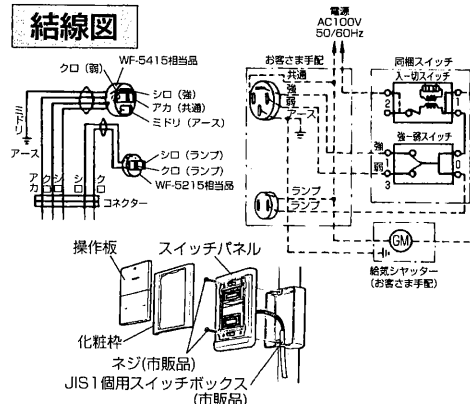
- ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテーピングしてください。

7 電気工事

1. 電源用、風量切換用および電動給気シャッター用プラグと同形のコンセントを設ける。
2. 付属のコントロールスイッチを取付ける。

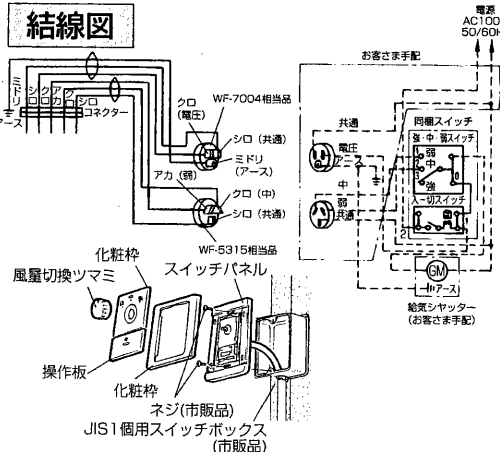
■2速タイプ（標準仕様）の場合

結線図



■3速ツマミタイプの場合

結線図



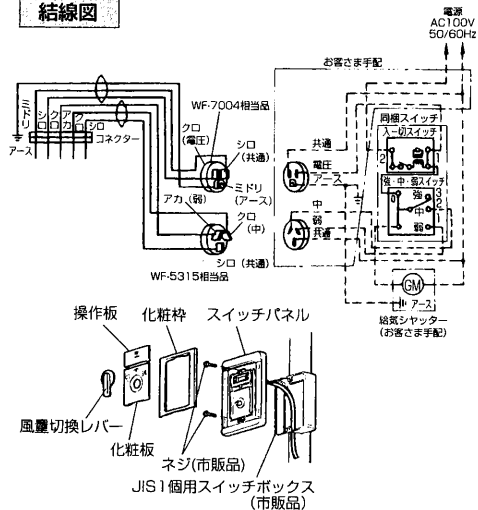
- 1 マイナスドライバーを使用してスイッチパネルの裏側から操作板をはずし、化粧枠も取りはずす。
- 2 結線図に従ってコントロールスイッチに結線する。
- 3 スwitchボックスのネジ（2本）でスイッチパネルをスイッチボックスに固定し、化粧枠、操作板を取付ける。
操作板を取付ける際は、外形寸法図を参照し、取付け間違いのないように取付ける。

1 風量切換ツマミを引き抜く。

- 2 マイナスドライバーを使用してスイッチパネルの裏側から操作板・化粧板をはずし、表側から化粧枠をはずす。
- 3 結線図に従ってコントロールスイッチに結線する。
- 4 スwitchボックスのネジ（2本）でスイッチパネルをスイッチボックスに固定し、化粧枠、化粧板、操作板を取付ける。
- 5 風量切換ツマミは切欠部（△）を合わせて取付ける。

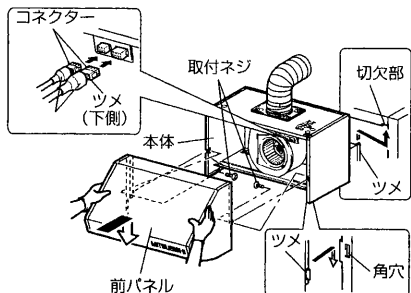
■ 3速レバータイプの場合

結線図



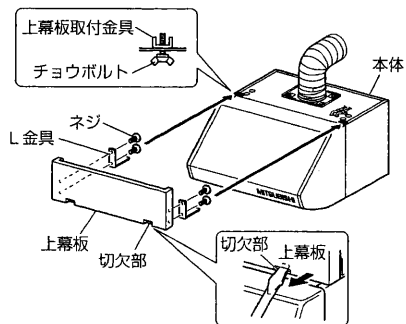
- 1 風量切換レバーを引き抜く。
- 2 マイナスイドライバーを使用してスイッチパネルの裏側から操作板・化粧板をはずし、表側から化粧板をはずす。
- 3 結線図に従ってコントロールスイッチに結線する。
- 4 スイッチボックスのネジ(2本)でスイッチパネルをスイッチボックスに固定し、化粧板、化粧板、操作板を取付ける。
- 5 風量切換レバーを取付ける。

8 前パネルの取付け

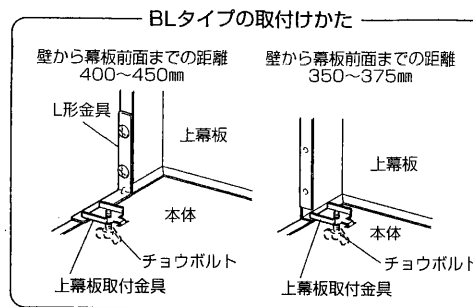


- 1 前パネル上部のツメを本体切欠部に引掛ける。
- 2 前パネル下部のツメを本体下部の角穴に押し込み、下に下げる。
- 3 前パネルと本体の両側を本体内部から図のようにはずした取付ネジ2本で固定する。
- 4 前パネルのコネクターを本体にカチッと音がするまで差し込み接続する。
 - はずれないことを確認して、チューブをかぶせる。

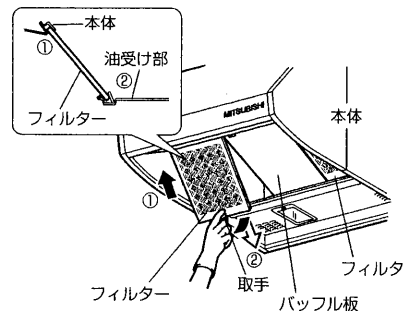
9 上幕板の取付け



- 1 上幕板にL金具を付属のネジ(各2本)で固定する。
 - BLタイプで上幕板位置を壁から350mm~375mmにする場合は、L金具を取付けなくてもいい。
- 2 上幕板を本体と上幕板取付金具にはさむようにして、前側からスライドさせる。
- 3 吊り戸棚に合わせて、上幕板の前後方向の位置を決め、仮止めたチョウボルトで締め付け固定する。
 - 奥に入りすぎた場合は、上幕板の切欠部にマイナスドライバーなどを引掛けて前に引き出す。



10 フィルター・バッフル板の取付け



バッフル板とフィルターを本体に取付ける。
① バッフル板は上部を差し込み、下側をはめ込む。

お願い

- バッフル板は必ず中央になるように取付けてください。
(油煙等の捕集効果を高めるために必要です)

② フィルターの取手を持ち、上部を差し込み、下側をはめ込む。

試運転

■ 取付工事が終わりましたら、次の確認をしてください。

警告 ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカーを切る。(感電することがあります)

本体はしっかりと固定されていますか？ ランプはゆるんでいませんか？

■ 電源プラグをコンセントに差し込み後、コントロールスイッチで次の確認をしてください。

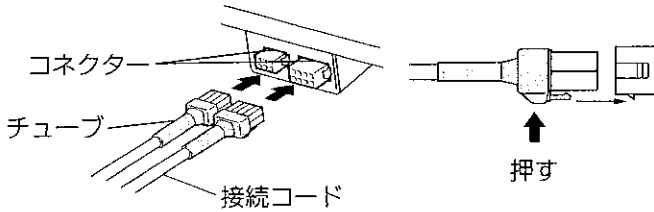
1. 電源プラグはしっかりと差し込まれていますか？
2. 電源スイッチの右側を押して表示ランプおよびランプが点灯し、レンジフードファンが運転しますか？
3. 風量切換操作をして風量が切換わりますか？
4. それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？
5. 電源スイッチの左側を押して運転停止と表示ランプが消灯しますか？

■ 試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。

必ずお読みください

■取付後の確認

取付後は必ずコネクターを接続する



前パネルを取り付けたあと、必ずコネクターを元通りに接続（カチッと音がするまで差し込みます）し、試運転で正常に動作することを確認してください。

■壁スイッチタイプの結線確認

V-604KSW4、V-604KSW4-BL、V-604KSW4-BL5、V-604KSW4-BL6 は下記手順で壁スイッチとコンセントの結線を確認してください。
 (誤結線されると、スイッチが溶着し故障します)

(1) 電源がきている場合の正規電圧
 (コンセント側にて電圧を確認してください)

コンセントの電極	壁スイッチの状態		
	OFF	ON	
		強-弱スイッチ	
共通①-強②	-	100V	-
共通①-弱③	-	-	100V
ランプ④-ランプ⑤	-	100V	100V

(電源電圧 100V は多少変動する場合があります)

(2) 電源がきていない場合の導通の有無
 (コンセント側で導通を確認してください)

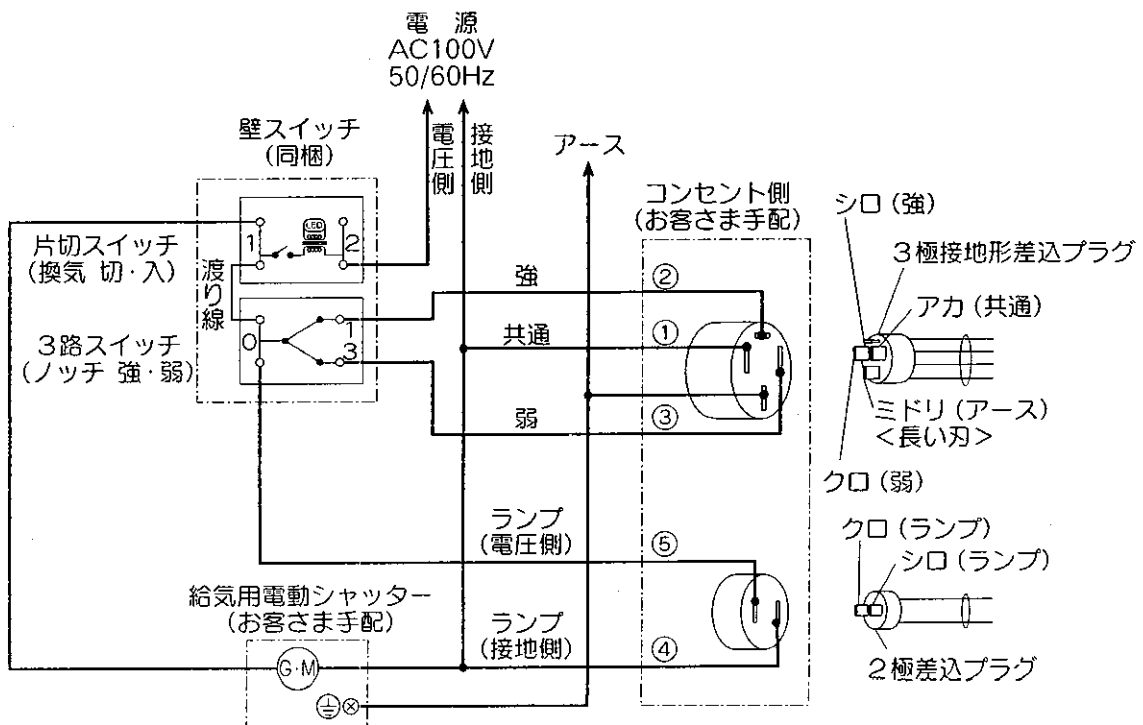
コンセントの電極	壁スイッチの状態	
	強	弱
共通①-ランプ (接地側) ④	導通アリ	
共通①-強②	導通ナシ※	導通ナシ
共通①-弱③	導通ナシ	導通ナシ※
強②-弱③	導通ナシ	
強②-ランプ (電圧側) ⑤	導通アリ	導通ナシ
弱③-ランプ (電圧側) ⑤	導通ナシ	導通アリ

※印は給気用電動シャッターが接続されている場合抵抗負荷がかかります。

例：P-18QDL4-BL の場合、約 1.3 kΩ

■結線図

※片切スイッチ（換気切・入スイッチ）にてランプはファンと連動して点灯します。



施工後はこのチラシをはがしてください。